

打ち合わせ議事録

宅配弁当WG 打ち合わせ#11

- ・日時:5月27日(金)の午後7時半から
- ・方法:ZOOMIによるオンラインMTG
- ・参加者:五島先生、川口先生、白井さん、夜野さん、小平さん(大妻女子大学)
- ・別紙:イベント報告、媒体展開資料など
- ・次回予定は約2カ月後(媒体展開が進んでから)



■今回の議題

《宅1グランプリのイベント》

- ・イベントの報告
- ・イベントの反響
- ・イベントでのプレゼン再録
- ・宅配弁当に関する問い合わせ

《宅配弁当の媒体展開》

- ・宅配弁当事業の現状
- ・WEB、紙を組み合わせた展開案



イベントの様子

イベントの報告(レポート、アンケート)

ケアする宅配弁当のイベント「宅1グランプリ」は4月16日(土)に開催しました。(会場/オンライン)

開催レポート

参加者アンケート

イベントの開催概要

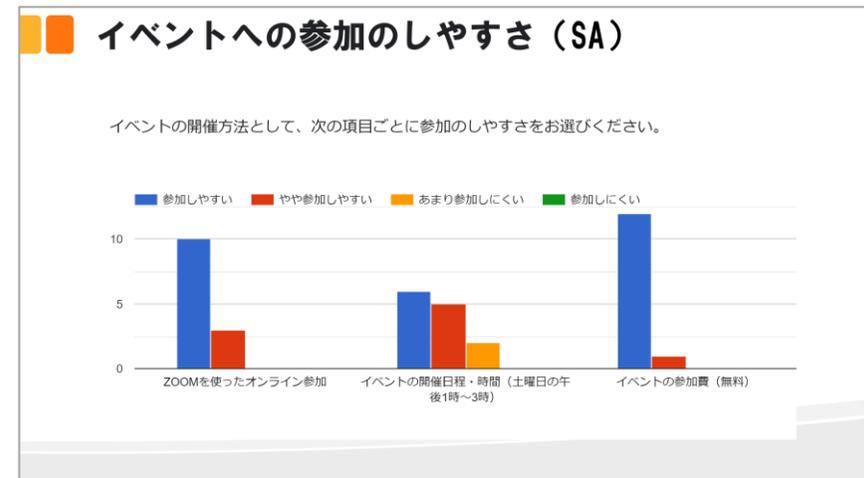
宅1グランプリ2022
「お弁当だけじゃない、食支援のサポーター」

- 日時:2022年4月16日(土)午後1時~3時
- 方法:ZOOMによるオンラインにて
- 対象:在宅ケアの生活者・家族、食支援に関わる専門職や団体など
- 参加費:無料(事前の申し込み制)

参加者は会場/オンライン参加あわせて約50名



食支援の専門家や宅配弁当の事業者の方に協力してもらい、宅配弁当の選び方や活用方法など、在宅ケアの目線で紹介しました



イベントの様子や視聴者の評価については、別紙のレポートやアンケートへ

イベントの反響(関係者、媒体社)

イベントの関係者・協力先へ報告をして、媒体等からも問い合わせあり

関係者・協力先

協力団体・企業

- ・大妻女子大学さん、東京都栄養士会さん
- ・天塩さん、ピジョンタヒラさん

コメンテーター・ゲスト

- ・川口先生、森岡さん、高田さん
- ・若山さん(介護業界のTikToker)
- ・高瀬さん(未来をつくるkaigoカフェ)

媒体社

高齢者/介護業界の新聞社

- ・高齢者住宅新聞
- ・シルバー産業新聞

その他に新食研のポータルサイトやソーシャルメディアにも掲載あり

イベントでのプレゼンの再録

イベントの序盤では、WIFIのネット回線に不具合が起こり、オンラインの中継が途切れることがありました

PowerPoint スライド ショー - 2022/04/16, [モ1ランウ]2, 前手の宅配弁当の基盤ver2 - PowerPoint

宅配弁当の値段 (配食方法) 基本 各社

基本の常食メニュー注文一括連食あたり550~650円
まとめ注文に分かれる。

- 種類・量が多い版
- やわらか食
- カロリー・塩分調整食

650~750円ほど

650~750円ほど

750~800円ほど

基本の標準版

500円ほど

650~750円ほど

たんぱく・塩分調整食

まとめ注文が基本のメニュー

週に数食以上のまとまった注文になり、配達ルートの調整が必要 (注文は前週、3営業日までに必要)

750~800円ほど

個別対応・調整が必要なケースもあり (詳しくは各社からの説明にて)

video1804340408

出所: 宅配弁当の価格表より

事前に準備していたWIFIのネット回線が、遅れる、途切れるなど

宅配弁当各社のプレゼン1回目については、再録したものを用意して、SNSやWEBで補足します (再度、試食のプレゼント告知なども)

宅配弁当に関する問い合わせ

宅配弁当に関する問い合わせや要望も挙がる。

■主な問い合わせ内容（デイサービスの利用者さんのケース）

- ・男性80代、デイサービス利用者
- ・日中は独り、夜は息子さんが買い物、調理
- ・現在は冷凍で宅配される弁当を利用しているが、味の薄さやおいしさで不安があり
- ・本人は濃い味付けを好んでソースなども多く使うので、宅配弁当にも栄養よりもおいしさを求める
- ・どんな弁当を食べているか、その献立や内容も分かりづらい

挙がった意見

- ・冷凍で宅急便で配達されるサービスの特性（その調理方法や冷凍・再加熱の工程）
- ・常温で宅配する弁当の紹介（出汁を効かせた味のこだわりや、献立メニューのかわら版などで、匂いを訴求するもの）
- ・宅配弁当の喫食を上げる工夫（野菜や果物の一品追加、地のもの・匂いのものを追加、主食にパンや麺などの追加など）

■その他にも既存の宅配弁当に関する要望も挙がる

- ・利用者目線では昼食に、カレーや丼もの、麺ものなどの1品メニューを食べたいニーズがあるが、それらの1品メニューがない
 - ・弁当容器もおかずがいくつかに分けられたもので、丼ものや麺ものがない
 - ・また主食はいつもご飯になり、パンや麺などのバリエーションがない
- この辺りは弁当を提供側の運営やコストもあるが、ユーザーの意見として挙げていくべき
- ・最近では、ウーバーなどの配達サービスもあるので、これらの機能を使って、街の飲食店で高齢者にも配慮したメニューを届けるなどの、アイデアも挙がる

宅配弁当事業の現状(1)

イベントは済んだものの、宅配弁当を必要とする在宅ケア世帯に向けた事業環境には、様々な課題を抱える

■各事業者が抱える経営課題

- ・コストの高騰
 - －原材料費、輸送費(燃料費)
 - －スタッフの人件費
 - －店舗の運営費(諸経費)
- 利用者のニーズ
 - －価格を抑えて(安く)
 - －味はおいしく(飽きる)
 - －付帯サービスも求める
- 運営者・スタッフの負担
 - －事業の採算性
 - －スタッフの人手不足
 - －継続的な事業経営

■宅配弁当の業界の課題

- －各社独自に提供する商品・サービス
- －共通したルールや運営基準がない
- －消費者に対する啓蒙やPRが少ない
- －行政への働きかけや要請が少ない
- －各社が連携する横のつながりがない

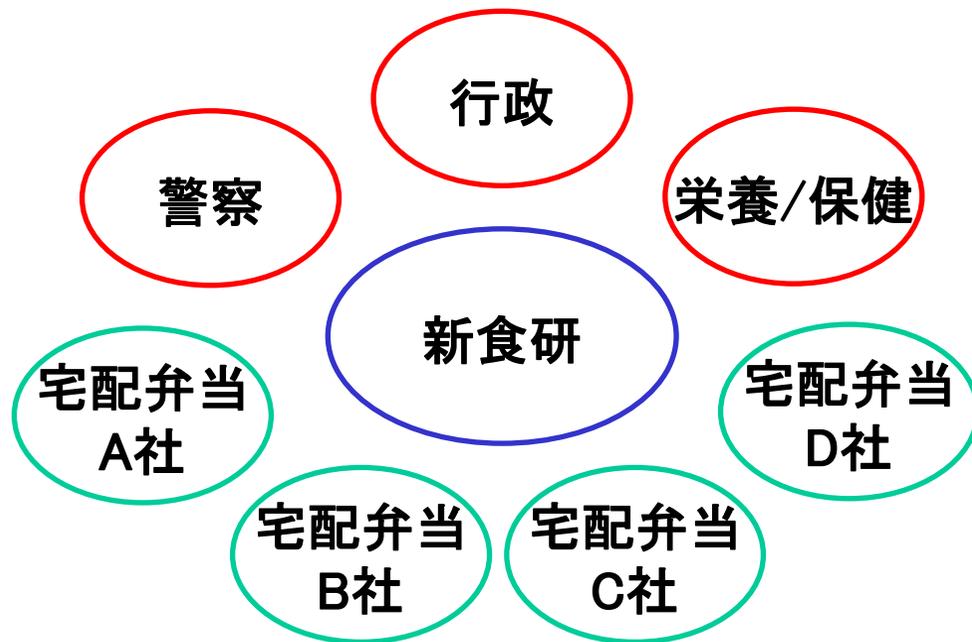
本来は業界団体や協議会があるべき
良い事例)

- ・介護食品協議会
- (似ているがマッチしない団体)
- ・日本栄養支援配食事業協議会
- ・日本配食サービス協会

各社の営業努力や経営改善では対応しづらい
業界共通の課題が挙がっている

宅配弁当の媒体展開のアイデア(1)

そのため次の施策として、新食研×宅配弁当各社×関係者が連携した、新たな媒体展開で、適切な情報提供を広めていく。



宅配弁当の媒体展開

- ・WEBサイトでの情報ポータル(食べログ風)
- ・ガイドブックでの情報案内(ミシュランガイド風)



別紙にて企画・準備中

**食支援の取り組みをするなら新食研が旗振り役で、
中立性を保ったまま、企業や行政・団体とも連携しやすい**

宅配弁当の媒体展開のアイデア(2)

自分達だけでメディア運営などをまかなおうとすると、運営する工数やコストがかなりかかるので、行政や団体とのコラボ(支援)も必要となる

《行政:新宿区とのコラボ案》

- ・これまでに実績がある生活福祉課の後援、産業振興課の補助金など
- ・新宿区では、毎年11月に地域に向けた介護福祉展、1月に介護事業者の懇親会などもあり



《公的団体とのコラボ案》

- ・日本財団などの福祉分野の補助事業
- ・中小企業や社団法人を支援する創業補助
- ・栄養士会の配食の栄養ケア事業
- ・その他にソーシャルビジネスの応募など



食支援を通じた、社会福祉に向けた取り組みまで広げるのであれば、NPO/社団法人のように、公的な補助や助成制度を活用しやすい